



# Well-being研究会 キックオフシンポジウム

～人のこころの豊かさ・幸福を求めて～

2022年 3月1日 火 15:00～17:30

## プログラム

### はじめに

15:00 「Well-being研究会を始めるにあたって」  
富田 克彦（産官学連携本部 特命教授）

### 研究発表

15:15 「社会的つながりに根ざした心の豊かさ」  
柳澤 邦昭（人文学研究科 講師）

15:40 「人生100年時代のwell-being」  
増本 康平（人間発達環境学研究科 准教授）

16:05 「スマート農業・食システムを起点とした地域活性化」  
藤井 信忠（システム情報学研究科 准教授）

16:30 「脳科学は人々を幸福に出来るか？」  
山川 義徳（産官学連携本部 客員教授）

### パネル ディスカッション

16:55 「如何にWell-beingを捉え、知の集積を図っていくか」  
モデレータ：富田 克彦（産官学連携本部 特命教授）  
パネリスト：柳澤 邦昭（人文学研究科 講師）  
増本 康平（人間発達環境学研究科 准教授）  
藤井 信忠（システム情報学研究科 准教授）  
山川 義徳（産官学連携本部 客員教授）

### おわりに

17:25 「Well-being研究会の発展に向けて」  
谷口 典彦（産官学連携本部 特命教授）  
（オープンイノベーション機構 統括クリエイティブ・マネージャー）

お申し込みは下記URLかQRコードから

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_z1055RxxRnG5i4H8j\\_CA\\_g](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_z1055RxxRnG5i4H8j_CA_g)

お問い合わせ先：Well-being研究会キックオフシンポジウム運営事務局  
日本コンベンションサービス株式会社 神戸支社内  
e-mail：well-being@convention.co.jp



# Well-being研究会発足の趣旨

2021年は日本のWell-Being元年であった。政府は2021年6月18日発表の“骨太の方針”で「政府の各種の基本計画について、Well-beingに関するKPIを設定する」、また“成長戦略”では「一人一人の国民が結果的にWell-beingを実感できる社会の実現を目指す」と明言した。

この背景の一つには、人のWell-being低下が国の政治・社会の混乱につながる懸念である。イギリスの“Brexit”、エジプトの“アラブの春”における混乱において、まさにその因果関係の可能性が示された。また、企業価値の判断においても、財務諸表の「見える資産」だけでなく、従業員のやる気（人的資産）、お客様の満足度（顧客資産）等「見えない資産」のWell-beingこそが重要と指摘されている。

人のWell-beingについての研究は未だ充分とはいえない。社会に対する様々な局面での貢献を目指し神戸大学でのWell-beingに関する知の集積に向けて、「Well-being研究会」を発足させた。

## 富田 克彦（産官学連携本部 特命教授）

松下電器産業（現パナソニック）ネット家電プラットフォーム開発センター所長、EC事業カンパニー社長等を経て、科学技術振興機構（JST）CISO（最高情報セキュリティ責任者）補佐。2014年より神戸大学特命教授として着任。現在、産官学連携本部オープンイノベーション機構にて産官学民連携の研究プロジェクト創成に尽力。



## パネリスト紹介

### 柳澤 邦昭 （人文学研究科 講師）

専門は社会心理学、社会神経科学。京都大学こころの未来研究センター特定講師を経て、2020年10月から神戸大学文学部講師。社会的孤立・孤独の問題に対し、多角的アプローチで研究を実施すると共に、分野横断的な取り組みを実践する。最近では、コロナ禍における孤立・孤独リスクの可視化と一次予防を目指したプロジェクトを推進している。



### 増本 康平 （人間発達環境学研究科 准教授）

感情、注意、記憶、意思決定といった人の情報処理の仕組みを明らかにする認知心理学の立場から高齢期のwell-beingに関する研究に従事。著書に『老いと記憶 ～加齢で得るもの、失うもの』（中央公論新社）、『老いのこころ ～加齢と成熟の生涯発達心理学（共著）』（有斐閣）など。神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授、同研究科アクティブエイジング研究センター副センター長。



### 藤井 信忠 （システム情報学研究科 准教授）

神戸大学大学院システム情報学研究科 准教授、神戸大学バリュースクール価値設計部門副部門長。078KOBE共同実行委員長、アーバンデザインセンター神戸（UDC078）センター長、COPLI会長。システム情報学を礎としたあたらしい都市生活のデザイン 手法構築に取り組む。自律分散型生産システム、サービス工学、スマート農業などに関する研究に従事。博士(工学)。



### 山川 義徳 （産官学連携本部 客員教授）

脳・情報・経営をキーワードに、大学での基礎研究と産業界での事業開発と公的機関での制度設計に従事。国際標準に承認された脳の健康管理指標BHQを用いて、脳科学によるWell-beingへの貢献を目指す。内閣府ImpACT山川プログラムの社会展開を担う一般社団法人ブレインインパクト理事長及び、神戸大学客員教授、東京工業大特定教授、京都大学客員教授。

